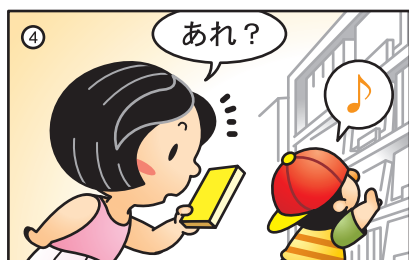
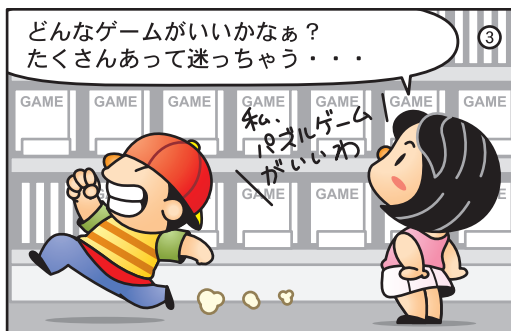


家庭用ゲームの『年齢別レーティング』ってなあに？



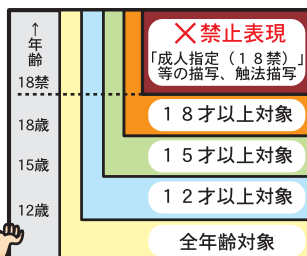


※ 正式名称は「映倫管理委員会」



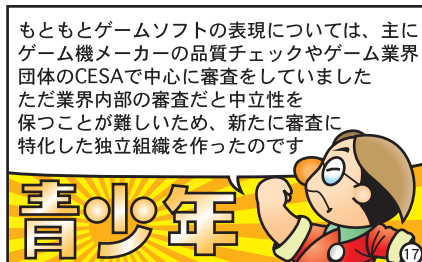
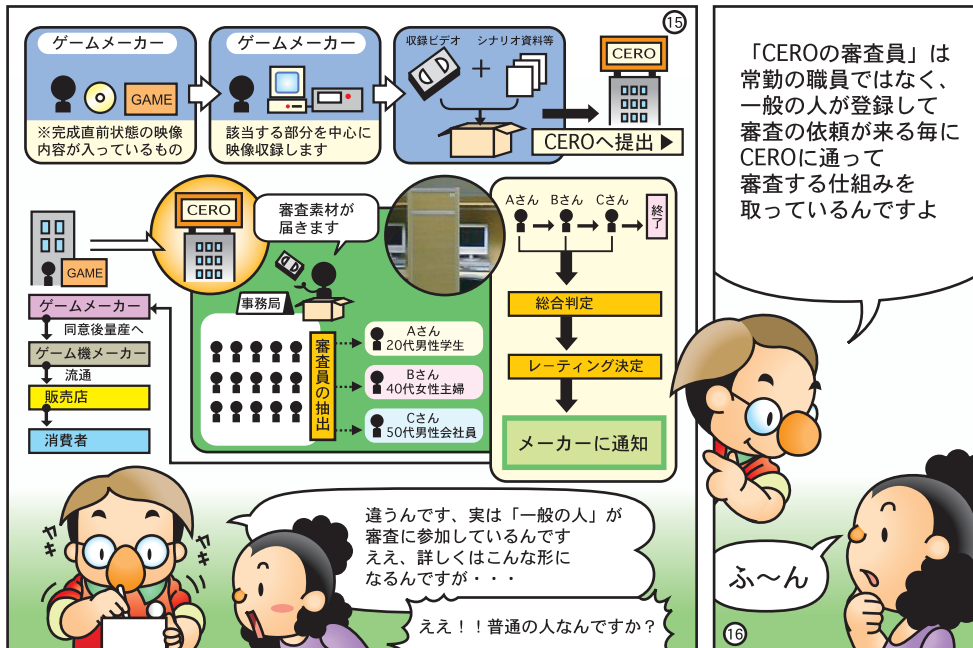
もちろんすべての家庭用ゲームソフトとしては、家庭で遊ぶのにふさわしい内容のゲームだけが販売されています

ただやっぱり高い年齢層向けのソフトっていうのは、その年齢にふさわしい表現が入ってますので、一番良いのは『年齢にあったゲームソフトを買うこと』だと思いますね



へえ～、そうなんですか







保護者の方へ

現在発売されている家庭用ゲームソフトは、＜社団法人コンピュータエンターテインメント協会（略称：CESA）＞主導の下、業界による自主規制が反映されております。

この業界自主規制は、家庭用ゲームソフトを表現の度合いによってどの年齢向けに適しているかを判定する「年齢別レーティング制度」で、「全年齢対象」「12才以上対象」「15才以上対象」「18才以上対象」の4段階に判定されます。判定結果は、家庭用ゲームソフトのパッケージの他、広告・テレビCMなどで掲示しています。なお「18才以上対象」許容を超える表現や、「成人指定等の描写」はレーティングを許可しておりません。

実際の審査はゲーム業界から独立した公正・中立機関＜特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構（略称：CERO）＞が行っています。

またCEROの審査はゲーム業界の関係者は一切関与しておりません。審査は全て一般から公募された「審査員」で、社会の皆様方の代表によってレーティング判定が行われる制度を採用しております。

皆様方におかれましては、ゲーム業界の取り組みをご理解いただきたく、CEROの「レーティングマーク」をご確認の上お楽しみ頂きますようよろしくお願いいたします。

